



国際ロータリー第2790地区  
The Rotary Club of Yachimata  
八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30～13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



国際ロータリー会長  
K.R.ラビンラン  
(スリランカ・COLOMBO RC)

会長 西村 清 ・ 会長エレクト 鎌形 芳法 ・ 副会長 萬来 謙一 ・ 幹事 福田 守

第50巻 第11号

通巻 第2395号

27. 10. 21発行

第2394回 2015年10月14日例会報告

【出席報告】

SAA 荒木 由光

【会長挨拶】

会長 西村 清

例会	出席計算 会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正 出席率%
10/14	29	22	7	75.86		
9/30	30	25	5	83.33	2	90
会員総数 36名 ( 内名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 10名 ) 通算出席率 92.18% 9/30メーキャップ2名・西村会長・鎌形会員						



点 鐘 会長 西村 清

ソング 我等の生業



【ニコニコボックス】

◇結婚記念日 ・大畑 喜信会員 ・生形 健一会員

◇ラグビー3勝(日本代表) 西村 清会長

昨日今日とお天気は素晴らしい秋晴れとなりましたが、南太平洋には日本を何うかもしれない台風がまた発生したとのニュースがございます。災害は忘れた頃にやってくることも申します。どうぞ皆さん油断なきよう願います。

さて今週のロータリー関係のお話ですが、これは感想です。といいますのも会長就任4か月でこれまで以上に深くロータリーを考え、また行動や精神にプレッシャーも感じる次第であります。ひとつは会長となって歴代会長や幹事の御苦勞が大変であるなと思いました。次にそれは時間の差し繰りが大変になってくることであり、その時間の拠出のためには、幹事をはじめとする皆さんのご御協力なくしては、まったく不全になるということです。さらにロータリーがいかにもアメリカ発祥だなと感じますのは、クラブ運営全体に息づく「輪番制、定例化、標準化」であります。この三つは皆さんの企業や団体でも経営の鉄則の一つであります。

それぞれの責任を一人に長く負わせるのではなく、メンバーそれぞれがいわば当番で義務と責任を負う輪番制。例会や懇親会のなかで交流をはかり社会貢献につなげるための定例化、そして広報や奨学金なども

一定の基準を設けて各々のメンバーがやりやすくなるような標準化、ということが徹底されているところに私の感じるロータリーらしさがあると御披露する次第です。またアメリカが膨大な資源大国であったことから現在のパックスアメリカナとも呼ばれる安全保障も含めた大国になった要因の一つに、経営や運営の積極性も挙げられるとおもいます。

最期に昨日ラグビーの日本代表が胸を張って桜のジャージをシックなスーツに着替えて帰国しました。ながらラグビーシャツには襟がついているのが普通でした。それは試合が終わったらノーサイド:つまり敵も味方もない状態であり、ネクタイを締めて交流の会食会に向かうためだったと言い伝えられています。ノーベル賞の連続受賞、体の小さいジャパンが世界で勝って賞賛されるラグビー、誇らしい日本の今週であったと自負いたします。

## 【幹事報告】

### 幹事 福田 守



#### ◎「里山歩き」のご案内

日時:2015年11月28日(土) 午前10時～午後3時  
集合場所:飯高寺(はんこうじ)

#### ◎地区RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)

パートⅡ パートⅢのご案内

日時:2015年11月21日(土)・・・パートⅡ  
2015年12月 5日(土)・・・パートⅢ  
9:20～17:00(両日とも)

会場:千葉県青少年女性会館

#### ◎移動例会のお知らせ

《成田RC》

2015年11月13日(金)→研修・新会員歓迎例会

場所:成田Uーシティホテル

研修:17:00～18:00

新会員歓迎例会18:30～

#### ◎受贈週報等 ・印西RC ・ちば里山新聞

## 【社会奉仕委員会よりお願いと報告】

### 委員長 原 弘行



#### 八街市産業まつりバザー出品のご協力について

先に連絡いたしました11月22日(日)開催される八街市産業まつりについてバザー出品(日用品、食品は新鮮なものの賞味期限についてご注意ください)を11月11日までの例会場で受付いたしますのでご持参いただきたくご案内いたします。

なお、出品できない会員は3,000円のご協力をお願いいたします。

#### 地区奉仕プロジェクト委員会セミナー参加報告

去る、10月10日(土)三井サンガーデンホテル千葉で開催された標記セミナーに檜木国際奉仕委員長と参加(全体の参加者は約250名)いたしました。セレモニーの後、職業(千葉西RC、多古RC)、社会(君津RC、八千代RC)、国際(千葉港RC、大網RC)各奉仕委員会から事例発表がありました。この発表の中で、大網RCから発表がありましたスリランカの元米山奨学生サジーさんの努力で山武市にスリランカ国の東京オリンピック選手団が事前キャンプをすることが決定したとのことです。

サジーさんの卓話もお聞きしたいと思いますので高橋会員がサジーさんをご存じとのことですからぜひお願いしたいと思います。

別紙、「趣味を持つ人 大集合!!」が配布されました。ご希望の方はご参加願います。参加費登録料何人参加しても一クラブ3,000円。

#### ♪産業まつりバザー用品♪

11月11日(水)までにお願ひします

## 【会員卓話】

## 会長エレクト 鎌形 芳法



### 自己紹介

会 社 鎌形運送有限会社

(代表取締役 鎌形芳法)

今期(55期) 職業分類 運輸・・・(貨物自動車)

\*同じく運輸のバス事業にチャーターメンバーの青柳会長がいらっしゃるので、いつもご指導頂いております。

R C 入会年数 10年

現在職掌 八街RCの会長エレクト

### ～職業奉仕 と「食の安全」について～

現在、大手製粉会社 数社と契約をし(一部サイロ含む)、毎日原料(小麦)の輸送を行っています。

製粉会社とは小麦を原料として、いろいろな食品の基となる小麦粉(パン・麺・パスタ・お菓子・ect)を製造、販売します。

食品製造の基になるため国との関係も深く、日本国内の食料備蓄は、指定を受けた政府保管倉庫(サイロ)に備蓄され国内に数カ所あります。また備蓄量も定められていて基準値は・・・1. 8ヶ月～2. 3ヶ月分を保管。

国内における小麦の消費量の割合は、おおざっぱではありますが8割弱が輸入小麦(外国産)となります。残りの2割強が国内産小麦です。国内では(北海道・九州・関東)の3カ所が主産地になります。当社はこの中で関東地区の輸送に携わっています。(一つの県でもその生産量は数万tに及び、収穫された小麦は一年間のサイクルですべて食べ消費されてしまいます。)

メーカーによっては皆さんが普段口にしている、パン・麺・お菓子・等・ect 製粉会社の配合割合にも異なりますが 当社で輸送した極少量の原料が含まれている可能性もあります。

このように考えると、「食べ物」・そして食の安全はより身近なこととなります。皆様に知っていただきたいことのひとつとして、2011.3.11の東日本大震災の時の原発事故の際に製粉会社がとった対応の一つをお話しいたします。

福島原発事故が公表された直後、関東地区の小麦は収穫前(6月収穫)であったため、しばらくすると政府から食に使うと良いとされる原料小麦の安全基準レベル数値が発表されました。

放射能数値:国際基準 1,000 ベクレル以下(OK)です。

国内基準 500 ベクレル以下は使用可能となりました。

しかし、製粉業界としては 100ベクレル以下のものをと・・・

人体に影響がないとされる国際基準、さらに日本政府が安全にとその半分500ベクレル。そして業界がより慎重にと基準にした100ベクレル。

・・・しかし実際はなかなか使用されませんでした?・それは何故か?

さらに数値が下がり30ベクレルになってもなお”まだ”ということでした。(30ベクレル・・・計測不能数値)

原因は精麦・粉にしたときに生じるフスマ(約3倍に圧縮)の対応が難しいためでフスマとは精麦するときに生じる副産物(家畜等の餌)です。この数値が3倍になってしまうためでした。この他にも・異物混入・成分検査・アレルギー・ect・様々な 過程をクリアして皆様の手に届くのです。

日本は 世界の中でも食の安全意識はとても高い国であると考えます。運輸業界にしても、また弊社が関わる食品業界においても、「安心」・「安全」にはコストがかかるものであることをご理解頂きたいと思えます。

## 【米山記念奨学会委員会より】

委員長 中山 直樹



来週10月21日(水)より米山記念奨学会の特別寄付のお願いをいたします。



## 【ガバナー事務所よりお知らせ】

ロータリアンの皆さま

日頃よりロータリーのポリオ撲滅活動をご支援いただき、心より感謝申し上げます。

来る10月23日(日本は24日)、ポリオのない世界を目指すロータリーの活動を大々的に紹介するために、ニューヨークで世界ポリオデーに合わせた特別ライブ中継イベントを実施いたします。

ユニセフとの共催で行われるこのイベントには、GPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)のパートナー団体、政府高官、世界保健における非政府組織のリーダーが列席するほか、3万人を超えるポリオ撲滅活動のサポーターが参加する予定です。

去る7月と8月には、撲滅活動における大きな前進がありました。ナイジェリアで歴史上初めて、野生型ポリオウイルスの無発症期間が1年を経過し、その少し後には、アフリカ全体で無発症1年を迎えることができました。

ポリオ撲滅という約束を果たせる日は間近に迫っていますが、成すべきことは残っています。今後もアフリカで進展を遂げると同時に、アフガニスタンとパキスタンにより多くの支援を注いでいかなければなりません。

世界ポリオデーに合わせたロータリーの特別イベントは、世界中からライブ中継を視聴するサポーターにロータリーによる活動の現状と今後の取り組みについて伝える機会となります。また、参加された方々にロータリーのメッセージを伝え、支援の重要性と撲滅の必要性を呼びかける声となってもらうためにも、このイベントは重要です。

ライブ中継イベントは、ニューヨーク時間で10月23日の午後6:30(日本時間は24日朝7:30)より開始されますので、ぜひご視聴ください。ライブ中継をご視聴いただけなかった方々のために、後日、ビデオも用意される予定です。また、ロータリーのポリオ撲滅活動に対する認識を世界中で高めるために、それぞれの地域社会でライブ中継の視聴を呼びかけていただきますようお願い申し上げます。ポリオ撲滅支援サイトからは、推進と支援の呼びかけに役立つ資料・ツールをダウンロードできますので、これらの情報をクラブ、地区、地域社会、政治関係者にもぜひご紹介します。

ロータリーは30年前、世界からポリオを撲滅すると世界に約束しました。その約束が今、現実になろうとしています。すべての子どもをポリオの脅威から守るために、この機会に皆さまからのご協力を何とぞお願いいたします。

心を込めて

国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン  
ロータリー財団管理委員長 レイ・クリンギンスミス



広報・IT委員会／樋渡 琢也・糸久 仁一・萬来 謙一